

糖質コルチコイドの取り扱いについて

1. 2021 年禁止表国際基準

2021 年の『S9.糖質コルチコイド』は一部例示物質が追加されましたが、禁止内容については 2020 年から変更はありません。引き続き、経口使用・静脈内使用・筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止されます。

2. 2022 年禁止表国際基準(改定予定)

- 2022 年 1 月 1 日より、競技会（時）に現在禁止されている使用方法（経口使用、静脈内使用、筋肉内使用、経直腸使用）に加えて、すべての注射経路¹（局所注射を含む）が禁止されます。
- 禁止された方法で糖質コルチコイドを治療目的で競技会（時）に使用した場合は治療使用特例 (TUE)が必要です。また、競技会外において治療目的で使用した糖質コルチコイドが競技会検査で検出された場合は TUE の遡及的申請ができます。

¹注射経路の例：静脈内、筋肉内、関節周囲、関節内、腱周囲、腱内、硬膜外、髄腔内、滑液嚢内、病巣内（ケロイド等）、皮内および皮下など

3. 遡及的 TUE 申請の手続き

TUE は、原則、禁止物質・禁止方法の使用前に申請し認められれば、その禁止物質・禁止方法を治療目的で使用できる制度です。ただし、いくつかの場合には遡及的に申請することができ、2021 年治療使用特例に関する国際基準より、遡及的 TUE 申請ができる場合として、競技会（時）にのみ禁止された物質を競技会外において治療目的で使用した場合は加わりました。

競技会外で糖質コルチコイドを使用した結果として競技会(時)のドーピング検査において当該物質が検出された場合は、その後で TUE を遡及的に申請することができます。TUE の審査により TUE が付与されれば、違反が問われることはありません。TUE 付与の基準は事前申請の場合と同じで、診断と治療の正当性を証明する必要があります。

4. (まとめ) 2022年1月からの対応

筋骨格損傷の急性炎症に対する糖質コルチコイドの局所注射(筋肉注射、関節内注入等)を競技会外でおこない、その後の競技会(時)のドーピング検査によって当該糖質コルチコイドが検出された場合は、TUEの遡及的申請が必要です。

TUE申請には、診断根拠、および糖質コルチコイドの局所注射を選択した理由が必要となります。

アスリートやサポートスタッフの皆様には、受診時に主治医(処方医)に対し、検査結果や診断所見等の記録を残し、必要に応じて医療情報が必要となることを依頼するようご周知ください。また、医療従事者の皆様には医療記録の保管と医療情報提出へのご協力をお願い致します。

5. (参考) 禁止表改定の変遷

	2020年まで	2021年	2022年(予定) ※内容は現時点で未定
内容	すべての糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用又は経直腸使用はすべて禁止される。	変更なし	すべての糖質コルチコイドの経口使用、 <u>すべての注射経路</u> 、経直腸使用は禁止される。

6. 2022年禁止表発行までの予定

2021年5月～7月：2022年禁止表国際基準ドラフトに対するコンサルテーション

2021年10月：2022年禁止表国際基準公開

2021年10月以降：2022年禁止表日本語訳作成、国内関係団体へ周知

※2022年禁止表の改定方針が確認できしだい、再度周知予定

以上